

RCMA特別講座第一回(全三回)

「ムスリム関連ビジネスと

APUムスリム研究センターの取り組み」

ムスリム研究センター 山本 晋センター長(APU 教授)

ムスリム関連のビジネスについて、アウトバウンドとインバウンドに分けて動向を解説。また、APUムスリム研究センターが進めている研究プロジェクトの紹介や、今後予定しているセミナーの紹介を行うほか、いくつかの先進事例を紹介する。

「ムスリムから見た日本における ハラール商品開発とその市場の可能性」

ムスリム研究センター ダハラン・ナリマン副センター長(APU 准教授)

現在、世界の全人口の約4人に1人がムスリムであると言われ、全世界のムスリム人口は約16億人である。この巨大なハラール食品市場に対しては、全世界で特有のコミュニティとハラールビジネス市場を形成するムスリムの人たちの動向に注目が集まっている。各国によるハラール製品の開発と輸出に向けた取り組みは競争の度合いが加速しており、ハラール食品の生産やロゴの承認などハラール事業の育成を図るとともに国際的なハラールハブを目指すとしている。日本国内でも、年々急増した来日ムスリム観光者市場と世界ハラール市場の両方を向けて、多くの企業と地域のムスリムコミュニティが日本のハラール食品の開発に取り組んでいる。本発表では、ハラールに関する基礎知識を述べ、日本国内のハラール食品開発の可能性を説明する。また、日本のムスリムコミュニティの連携による各地域のハラール食品開発の現状と問題、ハラール市場への可能性を述べる。



日時:2015年10月7日(水)16:05-17:30

会場:大分県別府市十文字原1-1

立命館アジア太平洋大学

RCAPS会議室A(B棟2F)

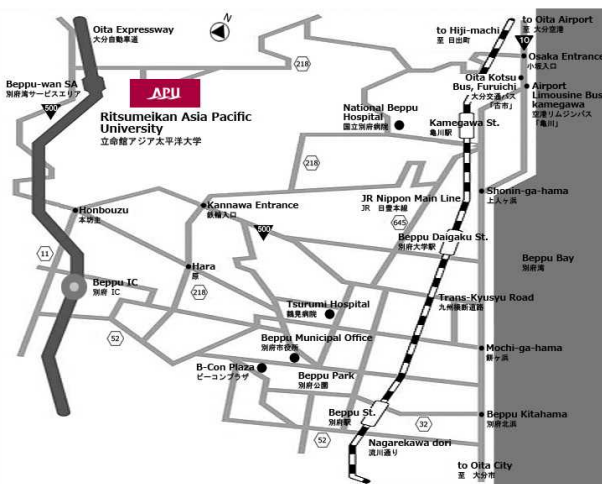
*ご参加いただくには、事前予約が必要です。
下記までお問い合わせください。

お問い合わせ先:

立命館アジア太平洋大学

ムスリム研究センター(RCMA)

TEL:0977-78-1134 rcma@apu.ac.jp



立命館アジア太平洋大学
ムスリム研究センター(RCMA)

RCMA特別講座